

様式 1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1（平成30年度）

1 地域の概要

(1) 地域名	阿賀町	(2) 地域内人口	11,678人	(3) 地域面積	952.88km ²
(4) 構成市町村等名	阿賀町	(5) 地域の要件*	人口 <u>面積</u> 沖縄 離島 奄美 <u>豪雪</u> <u>山村</u> 半島 <u>過疎</u> その他		
(6) 構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	組合を構成する市町村： 設立されていない場合、今後の見通し：		設立年月日：平成 年 月 日設立、認可予定		

2 生活排水処理の現状と目標

指標・単位	過去の状況・現状						目標	
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成34年度	
総人口	13,408人	13,093人	12,742人	12,358人	12,004人	11,678人	10,405人	
公共下水道	汚水衛生処理人口 汚水処理人口普及率	7,967人 59.4%	7,752人 59.2%	7,559人 59.3%	7,325人 59.3%	7,111人 59.2%	6,952人 59.5%	6,228人 59.9%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口 汚水処理人口普及率	4,340人 32.4%	4,264人 32.6%	4,146人 32.5%	4,041人 32.7%	3,945人 32.9%	3,817人 32.7%	3,416人 32.8%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口 汚水処理人口普及率	911人 6.8%	895人 6.8%	901人 7.1%	879人 7.1%	839人 7.0%	804人 6.9%	721人 6.9%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	190人	182人	136人	113人	109人	105人	40人

※ 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付した。（別紙参考を参照）

3 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容			整備予定基数の内容			備考
		基数	処理人口	開始年月	基数	処理人口	目標年次	
浄化槽設置整備事業	阿賀町	375基	914人	平成17年度	20基	60人	平成34年度	

※ 計画地域内の施設の状況（現況、予定）を地図上に示したものを添付した。

様式2

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2(平成30年度)

事業種別	事業番号 ※1	事業主体名 ※2	規模	事業期間 交付期間		総事業費(千円)					交付対象事業費(千円)					備考		
				単位	開始	終了	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度		平成 34年度	
○浄化槽に関する事業						33,000	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	8,820	1,764	1,764	1,764	1,764	1,764	
浄化槽設置整備		阿賀町	20基	30	34	33,000	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	8,820	1,764	1,764	1,764	1,764	1,764	
浄化槽市町村整備推進						0						0						
合計						33,000	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	8,820	1,764	1,764	1,764	1,764	1,764	

※1 事業番号については、計画本文3(3)表4に示す事業番号及び様式3の施設整備に関する事業番号と一致させること。また、様式3に示す施策のうち関連するものがあれば、合わせて番号を記入すること。

※2 広域連合、一部事務組合等については、欄外に構成する市町村を注記すること。

※3 実施しない事業の欄は削除して構わない。

※4 同一施設の整備であっても、交付金を受ける事業主体ごとに記載する。

施設概要（浄化槽系）

都道府県名 新潟県

(1) 事業主体名	阿賀町
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	合併処理浄化槽の普及を図るため、補助金を支給し、個人負担を少なくすることにより浄化槽を設置しやすい環境を作る。
(4) 事業期間	平成 30 年度 ~ 平成 34 年度
(5) 事業対象地域の要件	浄化槽設置整備事業実施要綱第3(1)ア(イ)
(6) 事業計画額	交付対象事業費 8,820千円 うち (以下の事業を実施する場合) ・低炭素社会対応型浄化槽整備推進事業に係る事業費 ・浄化槽整備区域促進特別モデル事業に係る事業費

○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

区分	交付対象基数 (人分)	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5人槽	基 (人分)	基			
6~7人槽	20基 (60人分)	0基	8,820,000	33,000,000	8,820,000
8~10人槽	基 (人分)	基			
11~20人槽	基 (人分)	基			
21~30人槽	基 (人分)	基			
31~50人槽	基 (人分)	基			
51人槽以上	基 (人分)	基			
改築	基				
計画策定調査費					
合計	20基 (60人分) 改築を除く	0基	8,820,000	33,000,000	8,820,000

【参考様式】事業計画確認表

●個人設置型

○計画額 ※ 計算式は適宜修正してください。

区分	計画期間合計				平成30年度				平成31年度				平成32年度				平成33年度				平成34年度				【参考】			
	交付 対象 基数 (基)	うち 単独 撤去 (基)	基準額 (千円)	対家軽 費 支出予 定額 (千円)	市町村 基準額 (千円)	市町村 撤去費 基準額 (千円)																						
5人槽	0	0	0	0																								
6~7人槽	20	0	8,820	33,000	4		1,764	6,600	4		1,764	6,600	4		1,764	6,600	4		1,764	6,600	4		1,764	6,600	1,650	0		
8~10人槽	0	0	0	0			0	0			0	0			0	0			0	0			0	0				
~人槽	0	0	0	0																								
計	20	0	8,820	33,000	4	0	1,764	6,600	4	0	1,764	6,600	4	0	1,764	6,600	4	0	1,764	6,600	4	0	1,764	6,600				

○事業の対象となる地域 ※該当する地域に○を付けてください。

浄化槽設置整備事業実施要綱第3(1)

ア-ア)	
ア-イ)	
ア-ウ)	○
ア-エ)	
ア-オ)	
ア-カ)	
ア-キ)	

【参考様式】事業計画確認表

●市町村設置型

○計画額 ※ 計算式は適宜修正してください。

区分	計画期間合計				平成23年度				平成24年度				平成25年度				平成26年度				平成27年度					
	交付 対象 基数 (基)	うち 単独 撤去 (基)	基準額 (千円)	対家軽 費 支出予 定額 (千円)																						
5人槽	0	0	0	0																						
6~7人槽	0	0	0	0																						
8~10人槽	0	0	0	0			0				0				0				0				0			
~人槽	0	0	0	0																						
~人槽	0	0	0	0																						
事務費																										
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

○事業の対象となる地域 ※該当する地域に○を付けてください。

浄化槽市町村整備推進事業実施要綱第3(1)

ア-ア)	
ア-イ)	
ア-ウ)	
ア-エ)	
ア-オ)	
ア-カ)	
ア-キ)	
ア-ク)	
ア-ケ)	
ア-コ)	
ア-サ)	

阿賀町生活排水処理基本計画

平成29年12月

新潟県阿賀町

はじめに

当町は新潟県の東部に位置し、県都新潟市から東へ磐越自動車道で約35分、一般国道49号では約60分で町の中心部に到着する距離にあり、町の東側は福島県の県境と接している。町の面積は952.88km²で新潟県面積の約7.6%を占めており、人口11,678人、世帯数4,732戸（平成29年3月末現在住民基本台帳）となっている。町のほぼ中央部を阿賀野川と常浪川の大河川が縦横断し、その沿岸の沖積地帯に開けた山間地帯で、中心部は比較的平坦であるが、四方は急峻な山岳地帯となっており、北に大きく飯豊山塊が広がり、南には越後山脈が南北に走っている。町面積の94.7%を山林が占める緑豊かな町である。

気象条件は、日本海側気候と内陸性気候の特徴を併せ持ち、年間の平均気温は11℃から12℃だが、年間を通じての気温差が30℃もあり、1日の気温差も大きくなっている。また、高温多湿で降雨量も多く、冬の積雪は平坦部で1.5m、山間部で2.5mに達し、根雪期間は12月下旬から3月下旬に及び、特別豪雪地帯に指定されている。

町の産業は、基幹産業であった農林業も農家の高齢化と後継者不足が深刻化し、第一次産業人口の減少が著しくなっている。近年は、建設・製造業の第二次産業、小売・サービス業の第三次産業が大きなウエートを占めるようになってきている。町には、若者の定住に向けた工業団地が造成され、東蒲原郡内住民の就労の場として雇用の確保が図られている。また、高速道インター周辺にニュータウンが整備され、定住の核としての役割を果たしている。

様々な整備が図られる一方、生活様式の近代化・多様化と相まって、家庭からの生活雑排水の量的増加と汚濁物質の量的増加をもたらし、生活環境の悪化と公共水域の水質悪化が進行し始めたことから、町では平成4年度から中心市街地を中心に公共下水道、点在する集落を農業集落排水事業等の下水道集合処理事業を導入し、生活環境の改善と公共水域の水質保全に向けた整備を進めている。一方その他集合処理計画区域外のエリアにおいては、合併処理浄化槽設置の補助事業を実施しており、今後も町全域の生活環境の改善と公共水域の水質保全を図り、快適な住民生活の向上に向けた取り組みを推進して行く。

1 基本方針

（1）生活排水処理に係る理念、目標

当町では、「住みやすい、暮らしやすい」町づくりに向け、特に生活排水による水質汚濁が問題となっており、社会的にもその対策の必要性和緊急性が強く認識されるようになってきている。

このようなことから、生活排水対策の基本として、地域住民へ生活環境の改善を図るため、家庭からでる污水対策を啓発指導し、良好な水環境の保全のための発生源の抑制を講じる。

（2）生活排水処理施設整備の基本方針

当町での生活排水対策の基本としては、公共用水域等の水質汚濁防止を図るための啓発指導と、生活排水対策として生活排水処理施設を随時整備を進める。

○ 人口密集地においては、集合型処理施設（公共下水道等施設・農業集落排水施設等）を整備する。

- 下水道・農業集落排水計画区域以外の分散集落については、合併処理浄化槽を整備する。
- 下水道等の供用開始区域で単独処理浄化槽を設置している家庭については、生活雑排水の水質汚濁防止に向け、積極的に下水道等への接続を推進するための啓発普及を図る。
- 下水道整備区域内で地形上下水道に取り組めない家屋については、合併処理浄化槽の整備を図る。

2 目標年次

当町の生活排水処理計画における目標年次は、計画策定時より5年後の平成34年度とする。
 なお、中間目標年度は特に設けないが、概ね3年毎に地域の実情に合わせその都度見直しを行う。

3 生活排水の排水状況

当町における生活排水の排水状況は次表のとおり、平成28年度において計画処理区域内人口11,678人の内、下水道水洗化人口9,039人、合併処理浄化槽人口804人、非水洗化人口1,835人となっている。

公共下水道事業及び農業集落排水事業は、整備完了となっており、今後は集合処理方式で対応できない山間小集落について、合併浄化槽での整備を進めていく。

表1 生活排水の排出の状況（単位：人）

	平成28年度
1. 計画処理区域内人口	11,678
2. 水洗化・生活雑排水処理人口	9,843
(1) コミュニティ・プラント	0
(2) 合併処理浄化槽	804
(3) 下水道	5,578
(4) 農業集落排水施設	3,461
3. 水洗化・生活雑排水未処理人口（単独浄化槽）	909
4. 非水洗化人口	926
5. 計画処理区域外人口	0

4 生活排水の処理主体

当町における生活排水の処理主体は、表2のとおりである。

表2 生活排水の処理主体

処理施設の種類	対象となる生活排水の種類	処 理 主 体
(1) 合 併 処 理 浄 化 槽	し尿及び生活雑排水	個人及び阿賀町
(2) 下 水 道	し尿及び生活雑排水	阿 賀 町
(3) 農 業 集 落 排 水 施 設	し尿及び生活雑排水	阿 賀 町

5 生活排水処理基本計画

(1) 生活排水の処理計画

① 処理目標

「1 基本方針」に掲げた理念、目標を達成するため、概ね全ての生活排水を施設で処理することを目標とし、また、町内の各集落の実情に対応した処理方式を採用するものとした。

(ア) 生活排水の処理の目標 (単位：%)

	現 在 (平成28年度)	目 標 年 度 (平成34年度)
生 活 排 水 処 理 率	84.3	85.0

(イ) 人口の内訳 (単位：人)

	現 在 (平成28年度)	目 標 年 度 (平成34年度)
1. 行政区域内人口	11,678	10,405
2. 計画処理区域内人口	11,678	10,405
3. 水洗化・生活雑排水処理人口	9,843	8,844

(ウ) 生活排水の処理形態別内訳

(単位：人)

	現 在 (平成28年度)	目 標 年 度 (平成34年度)
1. 計画処理区域内人口	11,678	10,405
2. 水洗化・生活雑排水処理人口	9,843	8,844
(1) コミュニティ・プラント	0	0
(2) 合併処理浄化槽	804	688
(3) 下水道	5,578	5,087
(4) 農業集落排水施設	3,461	3,069
3. 水洗化・生活雑排水未処理人口(単独浄化槽)	909	772
4. 非水洗化人口	926	789
5. 計画処理区域外人口	0	0

(2) 生活排水を処理する区域の人口等

当町が合併処理浄化槽、下水道、農業集落排水施設を検討した地域については、地区の特性、周辺環境、水源地の保全等から各集落の事業区域を定め、処理方法についても地区の実態にあった処理方法を定めた。

これらに基づき、生活排水を処理する区域及び人口等について、現在の状況及び目標年度における状況を別添図面で示す。

(3) し尿・汚泥の処理計画

① 現況

当町のし尿の収集・運搬については、阿賀町が業者へ委託し収集業務を行っている。年々下水道整備が進み水洗化家屋が増加する中で、し尿の収集量は減少している反面下水道汚泥が増加している。

下水道汚泥については、運搬業務を町が業者に委託し、阿賀町が管理する奥阿賀汚泥再生センターへ搬出しコンポスト化されている。また、浄化槽汚泥の収集・運搬については、許可業者が収集運搬し下水道汚泥同様コンポスト化されている。

阿賀町で管理する奥阿賀汚泥再生センターは、平成11年度に竣工し平成12年度から稼働している。処理能力は、し尿・浄化槽汚泥 22.3kl/日、厨芥・下水汚泥等 3.5t/日である。

② し尿・汚泥の排出状況

	現 在 (平成28年度)	目 標 年 度 (平成34年度)
汲み取りし尿	3.3 kl/日	1.5 kl/日
単独浄化槽汚泥	1.4 kl/日	1.2 kl/日
合併浄化槽汚泥	5.2 kl/日	4.4 kl/日
合 計	9.9 kl/日	7.1 kl/日
下水道汚泥	1.06 t/日	1.0 t/日

③ し尿・汚泥の処理計画

し尿・汚泥の収集・運搬については、現在の形態で実施する。

(4) その他

下水道、農業集落排水施設の整備が進む中で、水洗化に向けた啓発活動を積極的に行い水洗化率の向上に努める。
また、合併浄化槽の設置家庭については、定期的な保守点検、清掃について広報等を通じて周知に努める。

生活排水処理の現状と目標



